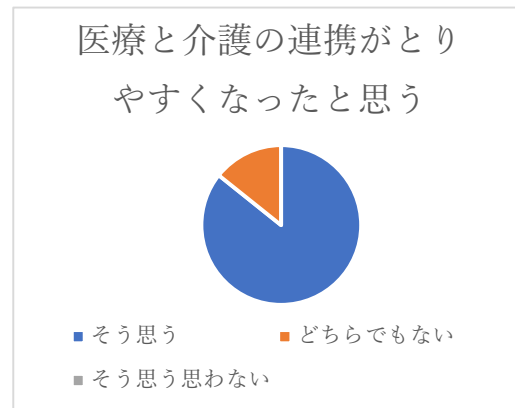
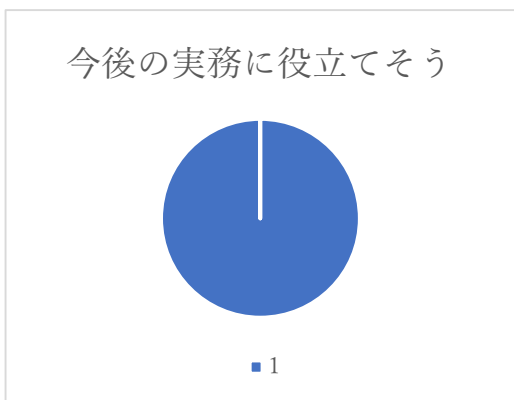
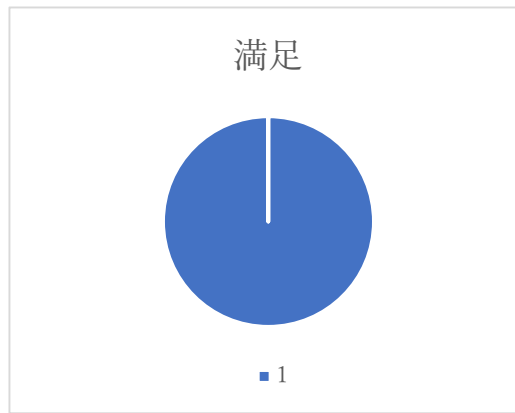
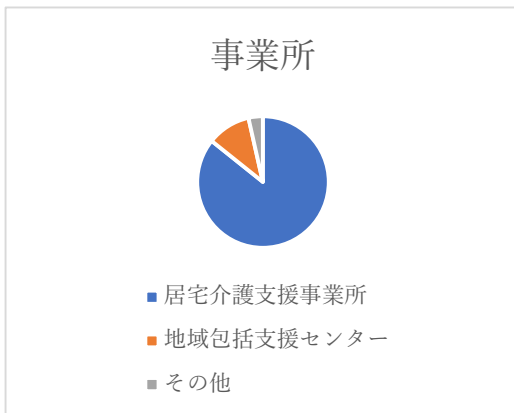
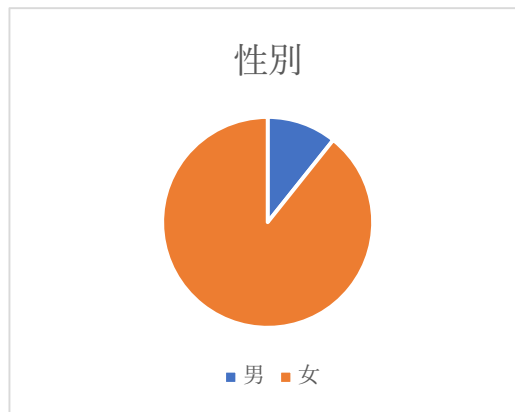
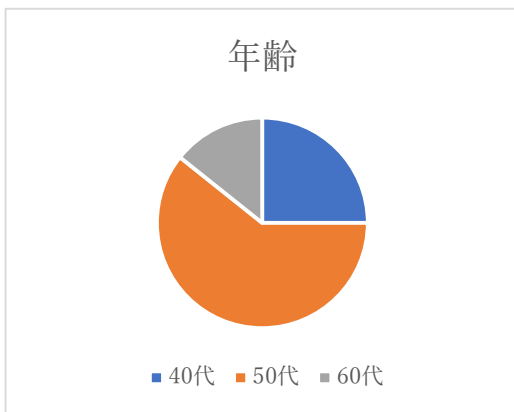


令和4年11月3日 ステップアップ中級アンケート結果 (参加者41名 回答者27名)



今回の研修を経て、今後の実務に役立てそうですか？

役立てそう

- 心不全についての理解が深まったと思います。
- 心不全等の心疾患を患っている高齢者が多く、病気の知識として見つけることができました。
- 心疾患の知識が深めることができた。
- 心不全の手帳の活用をしっかりとしていきたい。身体状況、生活状況を、受診前に書面で報告することで、今後の治療に繋げていきたい。医療との連携を深めていきたいです。
- 医師から直接要望を聞く事ができたから。
- 心疾患の患者さんへの支援に活かしたい。
- 心疾患のことが、よく理解出来た。
- 心疾患について理解が深まった。
- 多職種連携について、幅広い見解があり、今後の業務に役立てていきたいと思う。
- 医師に対して、利用者の退院後の状況報告の方法と、心疾患の服薬や原因が理解できました。
- 心疾患を抱えた方の退院時支援について、どのような症状に注意し、病院側とどのように連携、情報共有していくのか、学びとなった。
- 病気の事や生活上での注意事項など理解することができた。
- 心疾患で通院している利用者さんが多く、日常生活で注意することを再認識することができた。また。体調不良を訴えられた時、CMとしてどう対応するか確認できた。
- 詳しく説明して頂き、わかりやすかったから。
- 心疾患について新たな知識を得ることが出来、現場で活用する糧となりました。
- 心疾患についての治療について、関わる職種が押さえるべき所に着目して、共有しながら支援していくことで、再入院を回避することができ予防効果に繋がるのが改めて理解できて。注意して症状の聞き取りなどを行い、医療や介護事業所とつなぐことができればと思う。
- 心疾患についての講義がわかりやすく、資料もいただき、この知識を事業所で共有します。
- 高血圧や心疾患についてとても分かりやすく教えていただきました。
- 心不全手帳の存在やリードスペースメーカーについて初めて知りました。転倒して見つかった場合に不整脈による失神が原因のことがあり、意識の状態や脈のチェックの必要性があると教えていただき、今後の利用者支援に活かせる視点だと感じました。セルフケアの大切さや心不全の様々なサインの観察点など、新たな学びがたくさんありました。
- とてもわかりやすい講義でした。疾患を理解し、本人の意向を確認しつつ、病状の悪化

や再発が予防できるよう情報収集を行い、それを共有できるようにしたいと思います。

- 今後の病院との連携を行う上で参考になる意見があった。
- 心疾患についての理解が深まった。注意事項の整理ができた。
- 心疾患の症状でケアマネが見逃してはいけないサインの再確認ができた。
- 心疾患について確認しなければならない事項等把握出来た。
- 疾患についての理解と再入院を防ぐ為の注意点、情報収集や連携に行いて再確認できた。
- 同じ疾患でも、ステージにより内服薬の処方が区別されている事を知ったので、処方薬を見て利用者の心不全の状態を概ね知ることが出来ます。利用者に心不全手帳をお持ちの方がおられるので、必要性を説明して、訪問時には確認させて頂き、悪化を予防したいと思います。心配な利用者さんについては、書面で早めに相談させて頂きます。
- 心不全について理解できた。
- 心疾患を持つ方の日常生活で気を付けることについて具体的な説明があったため訪問時や支援に生かして行きたい。利用者様が転倒した時、今までは、身体機能の低下に目が向いていたが、不整脈から失神して転倒することがあるということが分かったため、意識状態や脈拍チェックにも気を付けて行きたい。心不全を持つ方の再入院の予防ができるよう病院と自宅の生活環境の違いを見極めながら関係機関との連携、サービスの調整をして行く必要があることが理解できた。

医療と介護の連携が今までより取りやすくなったと思いますか？

そう思う

- まずは書面で連絡するようにしようと思いました。
- 病院のほうもケアマネとの連携について少しずつ関心を持ってくれており、退院後または再入院時に連携をとることのメリットを感じてくれている。
- 事前に書面で報告・相談を今後も続けます。顔の見える関係性づくりをしていきたい。
- ケアマネの仕事が徐々に認識されるようになったから。
- 大下先生から事前に書面で教えてほしいとのお話してから次回からはそのようにしたいと思った。
- 文書の活用。
- 病院側のケアマネへの対応が積極的になっていると感じる。
- 主治医とお話する機会が少なく、受信時にお会いすることばかり考えていたが、今回事前に書面にて状況をお伝えすることで、早く現状の回避（検査等の予約を含め、主治医の判断を早く仰げる）ができる可能性を感じた。
- 連携室を通すことによって、専門職の人に相談しやすい事がわかった。書面で状況を連携室に報告後、受診同席したほうが医師に伝わりやすい。

- 医療連携室を設置している病院が増えてきたため、連携しやすくなった。
- 講師の先生の「医師」の立場から意見を伺うことができ、留意することがわかったため。
- 病状悪化の原因となる家庭の状態を、事前に書面で医師に提出する必要性。
- 心疾患についてアセスメントのポイントがわかり、それをどのような職種の方と共有していくか勉強できました。
- 受診同行など連携が必要な際に、お忙しいお医者様の時間を無駄にしないよう、生活状況や症状等のご報告、ご指導をいただきたい内容等、ポイントを押さえた文書を事前に提出することを徹底しようと思いました。
- 確認するポイントの整理ができた、事前の文書での提出」という先生からの本音が聞けたから。
- 他のケアマネさんの連携方法を知ることができ、参考になったから。
- 受診時に何を伝えたらいいか等把握する事で連携がスムーズに行えると思う。
- 相談員のみでなく、誰に何を確認するか。連携の方法も再確認できた。
- 入院時だけでなく、外来受診の時でも、連携室のワーカーさんが、外来の看護師さんへ情報提供してくれます。また、受診後に情報を頂くことがあります。
- 受診同行に際しての医師の意見を伺うことができた。
- 演習をしたことで自分では見落としていた視点に気づくことができた。
- 病院と連携する際、どのように伝えるとわかりやすいか悩んでいたが、書面にて伝えることでCM自身も情報の整理ができ、医師や医療職の方との連携がスムーズにできると思った。今後、書面やFAXを上手く活用して行きたい。

どちらでもない

- 医師との連携について書面を渡す必要性を感じた。
- お互いの情報が交換できなければ、マネジメントが出来ないため、遠慮せずに取り組み必要があると感じました。
- それぞれの市町や医療機関によって、連携室の考え方や体質があり、依頼してもこちらが望むような回答は得られないことがあるから。
- その時々で違うので取りやすくなったとは言えませんが、情報共有の方法、伝え方については工夫して連携が取りやすくなるようにしたいです。

今回の研修で気づいたことを教えてください

- zoomでの研修がありがたいです。
- 高齢者がかかりやすい身近疾患について学べたことで、この利用者さんにはこういう対応ができるなとか考えるきっかけができた。

- 専門職への質問内容、仕方など、自分が不足していた部分もあり、大事な内容を確認できた。
- 再入院の前に手をうつことが大事！！との大下先生の言葉が、心に響きました。
- まずは本人の意識が大切と思います。
- 心不全手帳の存在を知り、再入院を防ぐ為にも今後活用できたらと思う。
- セルフケアの重要性。
- 心疾患では再入院にならないようにするために気を付けることが多く、多職種が連携していくことが大切であり、病院とも上手に連携していきたいと思った。
- どなたもそれぞれの状況の中、最善を尽くされている事を感じた。自分がまだまだ勉強不足であるので、また機会があれば研修に参加していきたいと思った。
- なぜ心不全が悪くなったのか、今後生活状況を把握していきたいと思います。
- 病院で治療して退院しても、在宅での管理不足が病状悪化につながり、入退院を繰り返される方が多いと思うため、ケアマネは医療職との連携を躊躇せず行っていかなければならないと再認識した。
- こちらの都合で、初め音声聞き取れなかったため今回の研修の意義など聞き逃していると思いますが、最後に先生がおっしゃられたように病気を正しく理解することで、多職種が連携を取りながら、病状の悪化や再入院が予防できるように努めていくことの重要性を知ることができました。貴重な講演をありがとうございました。また、グループワークもリモートででき、色々な意見を聞くことができ勉強になりました。ありがとうございました。
- 心疾患の利用者さんの早めの受診のタイミングやお薬を飲み忘れないような支援。
- 私は看護師出ない為、医療面に対しての知識が低いです。心疾患だけでなく、さまざまな病名に対しての知識を得る必要があると改めて感じました。
- 支援を行ううえで、医療面は切り離せない部分であり、このように研修の場があることで、あらためて再認識できたので、他の高齢者に多い疾病についても多職種で連携できる場があるといいかと思う。
- オンラインでのグループワークの難しさがわかりました。
- ご本人やご家族、多職種の方々と連携を図りながら、再入院が回避できるように予防的に関わっていくことが大切だと改めて感じました。
- 基本の整理はできて良かったが、医療の知識・気づきの習得で良いのか、目的がおぼろげだった。最後に、「ケアマネジメント手法」の話が出たが、最初にその手法を踏まえての研修であることの説明があれば、経験の長いケアマネには、違うスタンスで、話ができただかもしれない。
- 心不全の再増悪の入院を防ぐために支援者側の早めの気づきが重要になることが理解できた。
- 医師に相談した方がいい場合の状態や疾患について把握する事により、何を中心にア

セサメント等を行えばいいかを考える必要があると感じた。他疾患に対しても勉強していく必要があると感じた。

- 直接医師や栄養士などの専門職の方と連携出来ることがないのですが、連携室の方を通してでも、今日の研修で感じた確認する内容を細かく聞かせて頂こうと思いました。そして、在宅でのサービス事業所と細かな連携に努めたいと思います。
- 自宅からズームで参加することが初めてだったため、パソコンの操作で戸惑ったり、自分の声が聞こえているのか不安であった。グループワークの意見をまとめる時、会場での研修では参加者で最終確認できるが、ズームではそれが難しいと思った。今後、ズームの研修への参加の機会を増やし慣れて行く必要があると思った。

その他（県協会へのご意見・ご希望など）

- zoom での研修がありがたいです。ありがとうございました。
- 研修等企画してくださりありがとうございます。
- いつもリモート研修を開催していただいて、本当にありがとうございます。
- 特になし。
- 今回 web 研修に変更になり、受講することができました。ありがとうございました。今後も web 開催して頂けると受講しやすいです。
- 特にありません。いつもありがとうございます。
- 特にございません。
- とてもためになる研修でした。また参加させていただきたいと思っています。お世話になりました。
- 大変お世話になりました。
- とても学びの多い研修でした。ありがとうございました。